

第7回ゲノム医療協議会	資料
令和3年9月3日	2-1

# 令和3年度の全ゲノム解析等のさらなる推進について ～患者に新たな医療を届けることを目指して～

厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## 事業目的

- ① 全ゲノム解析等の成果をより早期に患者に還元する（※）。
- ② 新たな個別化医療等を実現し、日常診療への導入を目指す。
- ③ 全ゲノム解析等の結果を研究・創薬などに活用する。

（※）全ゲノム解析等の成果のうち診療に役立つデータは速やかに可能な限り当該患者に還元する。

# 全ゲノム解析等の推進（骨太の方針等）令和3年

## ○**経済財政運営と改革の基本方針2021**（令和3年6月18日閣議決定）

日米首脳共同声明（※1）に基づく取組も視野に入れつつ、**全ゲノム解析等実行計画及びロードマップ2021**を患者起点・患者還元原則の下、**着実に推進し**、これまで治療法のなかった患者に新たな個別化医療を提供するとともに、産官学の関係者が幅広く分析・活用できる体制整備を進める。

## ○**成長戦略実行計画**（令和3年6月18日閣議決定）

革新的新薬を創出する製薬企業が成長できるイノベーション環境を整備するため、研究開発支援の強化、創薬ベンチャーの支援、国際共同治験の推進、国内バイオ医薬品産業の強化、**全ゲノム解析等実行計画及びこれに基づくロードマップの推進と産官学の関係者が幅広く分析・活用できる体制の構築**、・・・等を進める。

## ○**統合イノベーション戦略2021**（令和3年6月18日閣議決定）

**「全ゲノム解析等実行計画（※2）」及びロードマップ2021（※3）を着実に推進し**、これまで治療法のなかった患者に新たな個別化医療を提供するとともに、産官学の関係者が幅広く分析・活用できる体制整備を進める。

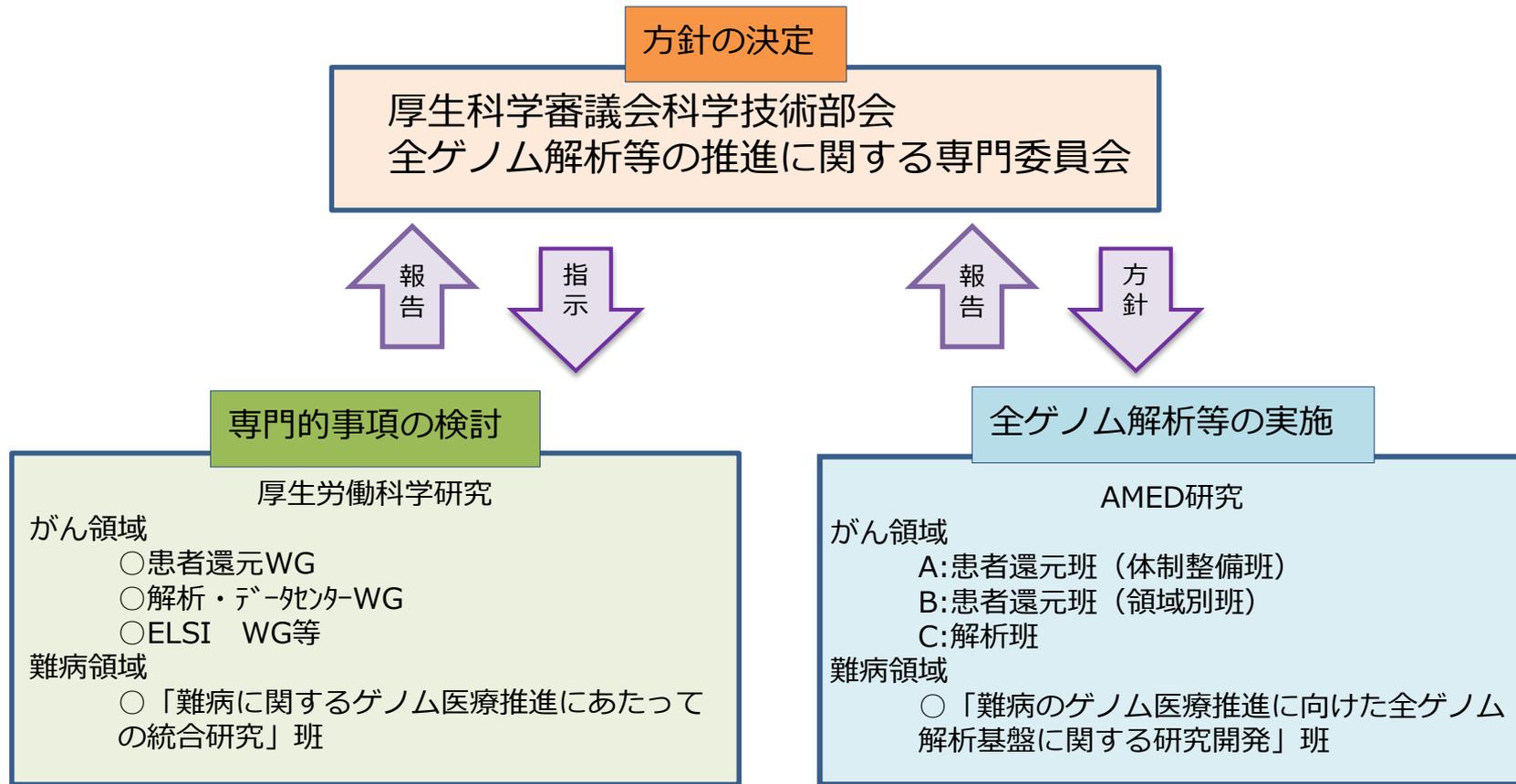
（※1）令和3年4月16日に発出された日米首脳共同声明の別添文書「日米競争力・強靱性（コア）パートナーシップ」を指す。

（※2）全ゲノム解析等実行計画（第1版）。2019年12月20日厚生労働省。

（※3）全ゲノム解析等実行計画ロードマップ2021。2021年6月9日厚生労働省。

# 全ゲノム解析等の実施体制（令和3年度）

- 「全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会」は「全ゲノム解析等実行計画」に基づき実施される全ゲノム解析等の実施状況について評価・検証を行い、方針の決定及び必要な指示を行う。
- 「厚生労働科学研究班」は専門的事項について検討を行い、専門委員会における検討に供する。
- 「全ゲノム解析等に係るAMED研究班」は解析状況等の報告を専門委員会に行い、同委員会の方針に従い、適切な進捗管理のもと研究を行う。



# 令和3年度AMED研究班の概要（がん領域）

A班：がん患者の臨床解析を行い、レポート作成及びエキスパートパネルによる協議等をへて患者還元を行う。  
（新規の患者及び検体保存済みの患者）

B班：領域別のがん患者について、C班と連携して全ゲノム解析等を行い、患者還元を行う。  
（検体保存済みの患者）

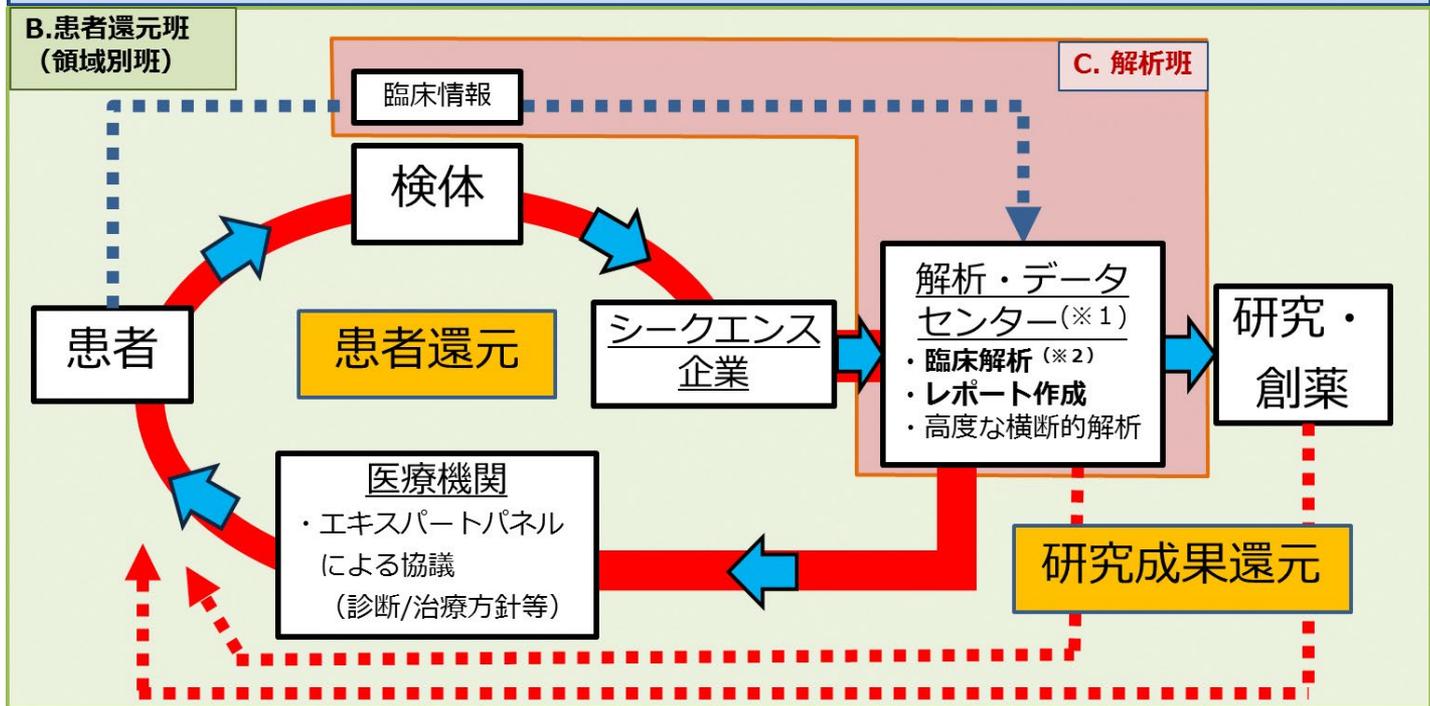
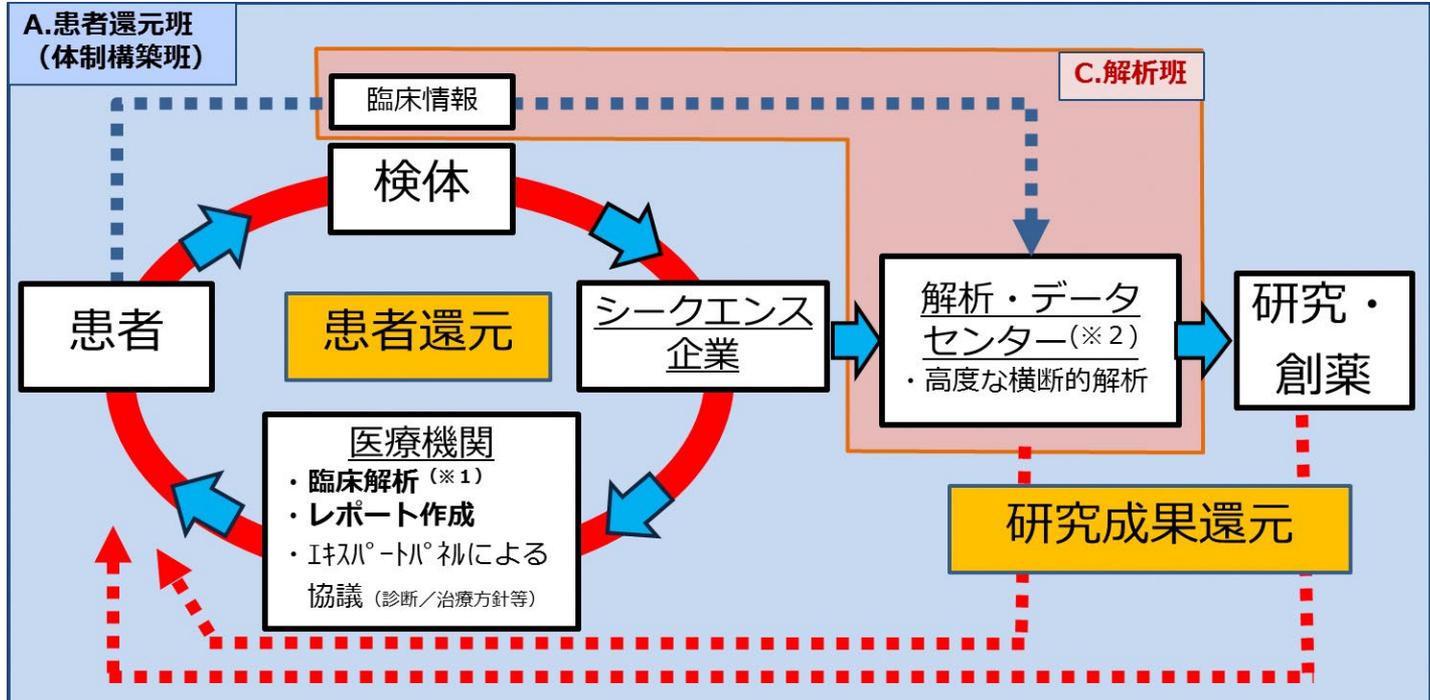
C班：A、B班において解析対象になったがん患者について、臨床情報を収集するとともに統一パイプラインによる解析及び臨床解析を行う。また、解析・データセンターの構築に向け高度な横断的解析、データ共有システムの構築等にも取り組む。

（※）各班は連携し、新規の治療法等の開発に向けた体制構築、臨床情報等の収集及び高度な横断的解析等を行う。

（※）各班は、実施状況について「全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会」に報告し、当該委員会の方針に沿って解析等を行う。

公募の種類	がん種	研究代表者	研究代表機関	令和3年度の症例数	
A班： 患者還元班 （体制構築班）	難治がん等	山本昇	国立がん研究センター	500症例（※1）	計 9,900症例（※2）
	難治がん等	浦上研一	静岡がんセンター	500症例（※1）	
	難治がん等	上野貴之	がん研有明病院	500症例（※1）	
B班： 患者還元班 （領域別班）	消化器がん	柴田龍弘	東京大学	1,400症例	
	血液がん	南谷泰仁	京都大学	1,400症例	
	小児がん	加藤元博	東京大学	1,400症例	
	希少がん	松田浩一	東京大学	1,400症例	
	婦人科がん	森誠一	がん研有明病院	1,400症例	
	呼吸器がん他	河野隆志	国立がん研究センター	1,400症例	
C班：解析班		井元清哉	東京大学医科学研究所	A班、B班合わせて 9,900症例すべての症例の解析	

（※1）それぞれ新規の患者200症例を含む。（※2）全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会で協議



# 令和3年度AMED研究班（国土班）の概要【難病領域】

## 難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析基盤に関する研究班 体制

